

○関東・中部地方の地震活動

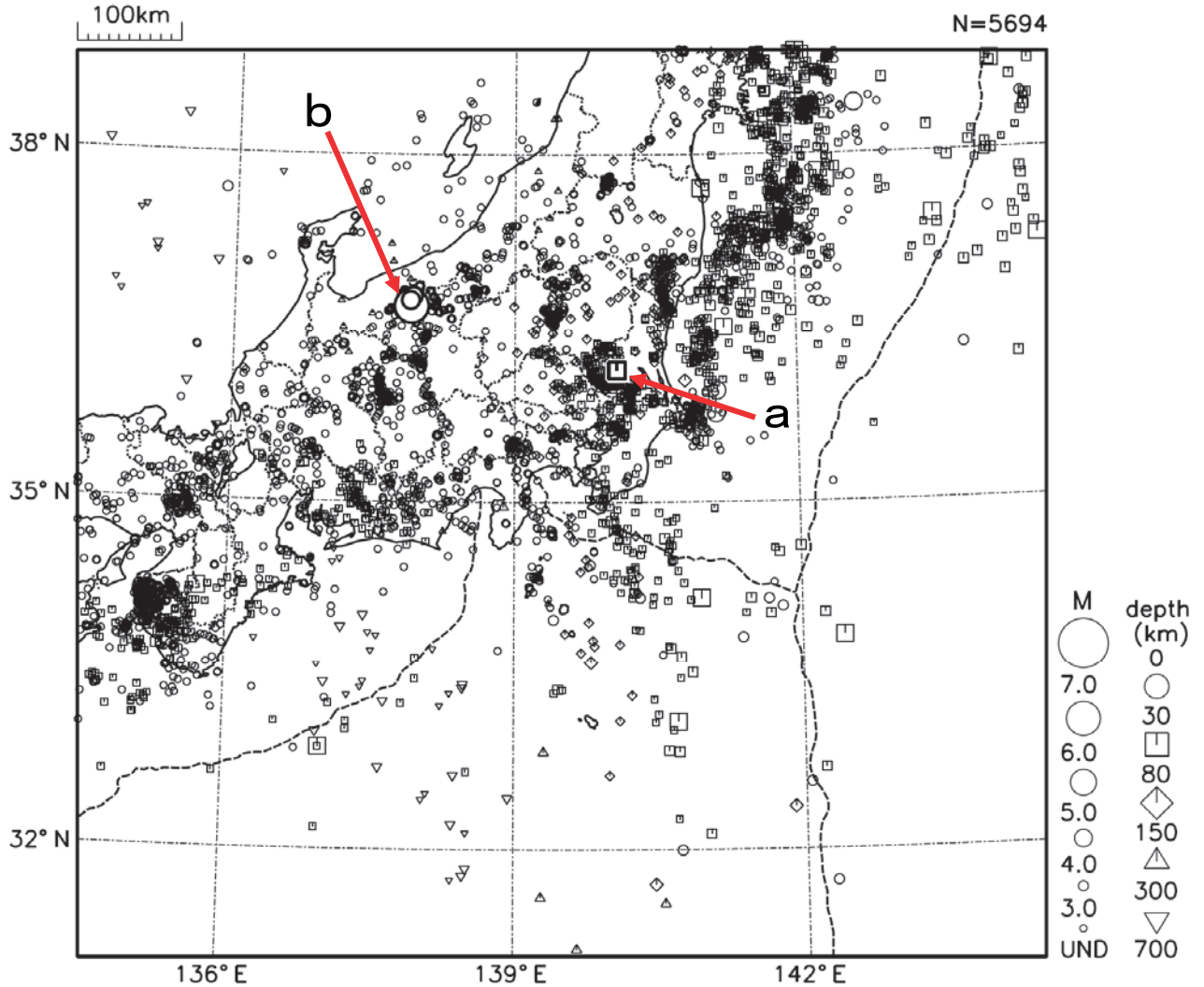


図6 関東・中部地方の震央分布図（2014年11月1日～11月30日）

[概況]

11月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は169回（10月は45回）であった。11月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 9の図5、p. 10、11参照）。

12日09時53分に茨城県南部の深さ66kmでM4.8の地震（図6中のa）が発生し、栃木県鹿沼市、真岡市、埼玉県加須市で震度4を観測したほか、関東地方を中心に、東北地方南部から中部地方にかけて震度3～1を観測した（p. 4、15参照）。

22日22時08分に、長野県北部の深さ5kmでM6.7の地震（図6中のb）が発生し、長野県長野市、小谷村、小川村で震度6弱、長野県白馬村、信濃町で震度5強を観測したほか、中部地方を中心に、東北地方から中国地方の一部にかけて震度5弱～1を観測した。

また、この地震の余震で、同日22時37分にM4.5の地震（最大震度5弱）、23日12時46分にM4.4の地震（最大震度3）、24日06時12分にM3.6の地震（最大震度4）、25日06時26分にM3.9の地震（最大震度4）が発生した。

詳細は特集ページ（p. 42～66）を参照